

事業番号	0	6	0
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	家庭教育推進事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降				担当課	生涯学習課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	13	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	01	大	04	中	01

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】

○幼稚園・保育園・小中学校において、家庭教育に関する意識啓発のための講演や親子のふれあい事業・体験活動を実施し、家庭教育について保護者がともに学び合い交流を深め、情報交換の場を充実するため、幼稚園・保育園の家庭教育学級や小中学校PTAに主体的に行う家庭教育推進事業を委託した。
 ・幼児期家庭教育学級(幼稚園・保育園) 1学級5万円の委託料、26学級
 ・家庭教育推進事業(小・中学校25校)各小中学校PTA会長に委託 1校につき20万円の委託料、25学級

○日ごろ平日に開催される学級に参加できない保護者や子育て中の市民を対象に、家庭教育に関する講演会を実施した。

- ・家庭教育講演会
 日時:平成30年6月9日(土)13時30分~
 場所:あさひホール
 講師・テーマ:橋こころ「楽に楽しく親も子も幸せになれる子育て」
 参加者数:約150人

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	財源	千円	6,411	6,445	6,660
	一般財源	千円	6,411	6,445	6,660	6,586		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	計(A)	千円	6,411	6,445	6,660	6,586		
	対前年比	%	-	100.5%	103.3%	98.9%		
	(当初)予算額	千円	7,217	7,138	7,232	7,146	7,278	
人件費	正職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15		
	正職員(平均人件費)	千円	1,123	1,123	1,123	1,123		
	その他職員	人	0.1	0.1	0.1	0.1		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	100	100	100	100		
	計(B)	千円	1,223	1,223	1,223	1,223		
	事業費合計(C=A+B)	千円	7,634	7,668	7,883	7,809		
指標	成果指標	学級実施事業数(事業)	目標	-	-	-	-	-
		実績	342	360	351	355		
	学級参加者数(人)	目標	-	-	-	-	-	
		実績	42,311	43,187	43,765	42,389		
	活動指標	学級開設学校数(校)	目標	25	25	25	25	25
			実績	25	25	25	25	
		学級開設幼稚園・保育園数(園)	目標	31	31	31	31	31
			実績	26	26	26	26	
	@事業費	受益者数(a)	人	42,311	43,187	43,765	42,389	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	181	178	181	185	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>○事業費は、概ね横ばいの動きであり、事業への参加者も大きな増減はない。</p> <p>○市内の幼稚園、保育園等において保護者による家庭教育学級を組織し、計画的な学習を実施することができた。また、市内の小中学校のPTAにより、家庭教育についての学習活動や家庭、学校、地域とが連携し、地域ぐるみで子どもの自立を育む活動を実施することができた。</p> <p>ただし、課題として学習の成果が、参加者の情報交換で終わることなく、家庭での子どもの教育につながるものになるよう働きかける必要がある。</p> <p>○講演会の参加者は、日頃から家庭内で子育てを行っている女性が多く、男性の参加者が少ない傾向にある。子育て世代の多くが共働きの時代であり、女性だけでなく、男性にも参加してもらえるよう、講演会の内容や実施方法などについて検討する必要がある。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	0千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○事業の参加者数は横ばいであるものの、参加者は、子育ての段階等に応じて入替わっており、本事業が、家庭教育の重要性を啓発する機会、家庭、学校、地域が連携する機会となっていることから、今後も事業の規模を維持し、継続して行っていく必要があると判断した。</p> <p>また、講演のテーマなどを工夫し、課題にあげた男性も参加したくなるような講演会の開催に努めていく。</p>				